

桑野っ子通信

令和四年十二月二十三日発行

桑野小学校学校新聞

発行責任者 校長 角田 雅仁

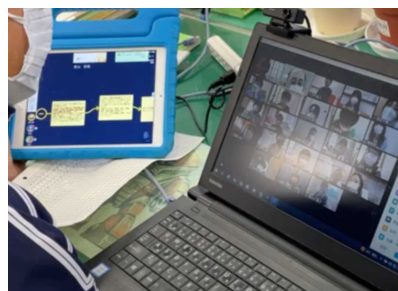
二学期、八十二日間を終了

感染状況の収束を心から祈りながら

年の瀬の感染拡大

十二月十日過ぎから、校内での感染が拡大し、三クラスで学級を閉鎖する措置をとり対応して参りました。皆様には大変ご心配をおかけしております。十二月初旬までは感染者数が極めて少なく、家庭内感染や経路不明が中心で、校内感染拡大を抑えておりましたので、改めてオミクロン株ウィルスの感染力の強さを感じております。学校では、感染対策を徹底し、新しい生活様式に沿った対応を進めて参ります。

子ども達の二学期の反省やキャリアパスポートの振り返りを見ると、「目標に向かってがんばってきました」「自分にもいいところがある」とわかりました。などの言葉を目にしました。自分に自信を持ち、目標に向かって前向きにがんばっている子どもを、これからも応援していきます。来年も、



オンライン朝の会

なお一層、子ども達の目の輝きを見られる一年にしたいものです。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

感染のために学級閉鎖になった学級では、写真のようにオンラインで学級の子ども達をつなぎ、朝の会を行ってきました。ロイロノートやスタディーサプリなどの学習ツールを組み合わせた学習を通して、担任と子どもをつなぎ、学びを止めないように工夫しています。

サイエンスアート教室

十二月十六日（金）に、希望する高学年の子どもたちを対象に、福島大学の岡田教授によるサイエンスアート教室を行いました。福島大学と本校のキャリア教育推進事業がマッチした形で実施。子どもたちが科学の虜になっていました。



入カスキルで初段達成！

三年生以上の子ども全員を対象に、全国小学生キーボード入力技能検定（キーボードアドベンチャー）に、三十級からチャレンジさせています。四年生から六年生までの七名が見事、最上級の初段（一分間に長文六十文字）に合格しました。全国の小学五年生の文字入力平均は、一分間に約六文字です。ローマ字入力のスキルは、これからの学習や社会で生きる基本になる力です。達成に至るまでの次のことが素晴らしかったので、彼らを終業式で賞賛しました。

- 一 目標を持って取り組んでいたこと
- 二 あきらめずに時間を決めて



た。偏光シートにセロテープを貼って作る光の芸術の不思議さに、子どもたちは

頑張ったこと
三 やらされてではなく、自ら進んでやっていたこと
四 なかなか進級できない時、練習を工夫してきたこと
七人の子ども達以外の子ども達も、今、昇級に向けてチャレンジしています。



各種入賞おめでとう

J A県小中学生交通安全ポスターコンクール 審査員特別賞	六年	竹内
銅賞	二年	武藤
佳作	六年	渡邊
J A県小中学生書道コンクール 奨励賞	五年	君島
佳作	二年	宗像
全国小学生キーボード入力技能検定		
初段認定	四年	坂井
初段認定	四年	石川
初段認定	五年	相樂
初段認定	五年	熊谷
初段認定	六年	岡崎
初段認定	六年	先崎
初段認定	六年	高星